

※公式ホームページでは施設情報のほかイベントやブログを発信しているほか、旭山動物園だより・あさひやまどうぶつえんみにだよりなど各種発行物を pdf でダウンロードすることができます。



【2025年度・夏期開園】 4/26(土)~11/3(祝)
 【開園時間】午前9:30~午後5:15 (最終入園は午後4:00まで)
 ※10/16(木)からは午前9:30~午後4:30 (最終入園は午後4:00まで) 期間中休園はありません

公式ホームページ

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104

インドクジャクとジェンツーペンギンのヒナがすくすく成長中!

ジェンツーペンギンは7月に2羽、インドクジャクは、8月に2羽の母から5羽のヒナが誕生しています。

9/8撮影

8/4に孵化した1羽のヒナの世話を
 する母クジャク。4日ほど先に生まれて
 いるからか、ほかの4羽のヒナ(下の
 写真)よりひとまわり大きいです。

8/4に孵化したヒナ

2羽の母クジャクの子育ての様子が
 観察できるのは園内初のことです!

9/8撮影

こちらの母クジャクは4羽のヒナの
 めんどろをみています。

8/8と8/9に孵化したヒナ4羽



7/7撮影

9/8撮影

7/2孵化
 No.48→

ジェンツーペンギンは
 そろそろ放飼場デビュー

7/2と7/3に
 孵化したばかりは
 95.5gと92.6gで
 濃い灰色の羽毛で
 覆われていたヒナ。
 取材時にはNo.48が
 5.4kg、No.49が5.8
 kgと、親と変わらない
 くらい大きく
 成長しています。

↑7/3孵化
 No.49

第57回旭川市旭山動物園児童動物画コンクール入選作品発表!

今年で57回目の「旭川市旭山動物園児童動物画コンクール」。8/30には審査会が行われ、応募総数1215点のなかから入選作品が決まりました。旭川市長賞に入選された3点の作品は、今年度中に北海道エリアのローソンで発売されるパンのパッケージデザインに使用されます。

旭川市長賞(最高賞)に
 選ばれた3作品!

【幼児の部】
 加藤 晴斗さん

【小学校低学年の部】
 西山 菜波さん

【小学校高学年の部】
 三上 心実さん

生きものに備わる能力は
 すべてが口の生きる術

昆虫を育てていて驚くのは、
 彼らに備わった能力。例えばナミアゲハ。卵から生まれた幼虫は黒くて3ミリほど。拡大してみると短い毛がはえています。毛量は少なめです。数日後、体に小さなイボのようなものに覆われ、体が白い帯模様が現れました。葉の上で生きる幼虫の、生きる術「鳥の糞に擬態」です。脱皮を繰り返して成長すると、最終的に全身が黄緑色で目玉のような模様がついた幼虫になり、危険を感じると左右に揺れます。「へビに擬態」です。その後サナギから成虫になると黄色と黒の大きなチョウになります。彼らの短い一生から多くの生きる術が観察できますよ!

2025年・春夏「昆虫 5大ニュース」

いつも園内で鳥類や昆虫類を中心に観察しているなかで感じた昆虫に関する気になるニュース、感動したことを7本ピックアップしてみました! ※旭山動物園内の出来事です

1) エゾゼミの鳴き声がほとんど聞かれず、抜け殻も見つからず!

2) ミカン科を食草とする大型のチョウ4種を観察

3) ヒメギフチョウの幼虫は集団行動も生存戦略の一つ!

4) 幼虫は大発生していたが、成虫も卵も少なかったマイマイガ

5) 「だれかのはたけ」にキアゲハが産卵しに来る!

今年度は6/29に鳴き声を確認したエゾゼミとニイゼミですが、今年は6/27にニイゼミの鳴き声を確認(8/23まで)。エゾゼミの声はなかなか聞こえず7/27になってやっと聞こえはじめ、8/12まで数回(数匹)しか鳴いていませんでした。昨年50個ほど拾った抜け殻も今年はゼロです。なぜエゾゼミの数が少ないのでしょうか。生息環境の変化でしょうか。地中で過ごす幼虫の間に何か問題があったのでしょうか。

今年度はミヤマカラスアゲハ、カラスアゲハそしてオナガアゲハという黒いアゲハを春と夏に観察しました※年2回成虫が発生します。また、夏にはナミアゲハも観察(春にも飛んでいたかもしれませんが)できました。この4種のアゲハチョウの仲間はすべて幼虫の食草がミカン科となっています。園内にあるミカン科の植物は「キハダ」のみ。ガヤチョウの仲間も多く、幼虫の食草に産卵し、生まれた場所の葉を食べ成長します。

5月の始め、ヒメギフチョウの卵を見つけたので観察していました。孵化した9匹幼虫は集団で1枚の葉を食べ、1枚の葉を食べつくすと近くの葉に集団で移動していました。アゲハチョウ科のヒメギフチョウは1枚の葉に10個ほど産卵、カラスアゲハなどは1枚の葉に1~2個の卵を産み、幼虫は単独行動です。

オスが多く飛んでいるのを観察。7/20に産卵するメスを見かけましたが、その日以降マイマイガ(オス)マイマイガも卵も観察できませんでした。幼虫が多かった割に成虫が極端に少なかったようです。

8/19、動物図書館で管理している「だれかのはたけ」のニンジンに、キアゲハが産卵して来ました。幼虫の食草はセリ科。チョウの産卵場所を見つける能力には驚くばかりです。